

イトテンツキ

カヤツリゲサ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

Bulbostylis densa (Wall.) Hand.-Mazz. var. *capitata* (Miq.) Ohwi

選定理由

既知の産地は1ヵ所のみである。(現況:R-)

形態

イトハナビテンツキの変種で、花序に柄がなく小穂が頭状に集まってつく。外見の似るハタガヤとは小穂の鱗片がより濃色であること、鱗片の先が短芒状にならないことで区別できる。

国内分布

本州(東北地方南部)~九州。

県内分布

口能登区(宝達志水町志雄地区)。

生態など

一年草。花期は8~10月。

生育環境

日当たりのよい草地。

危険要因

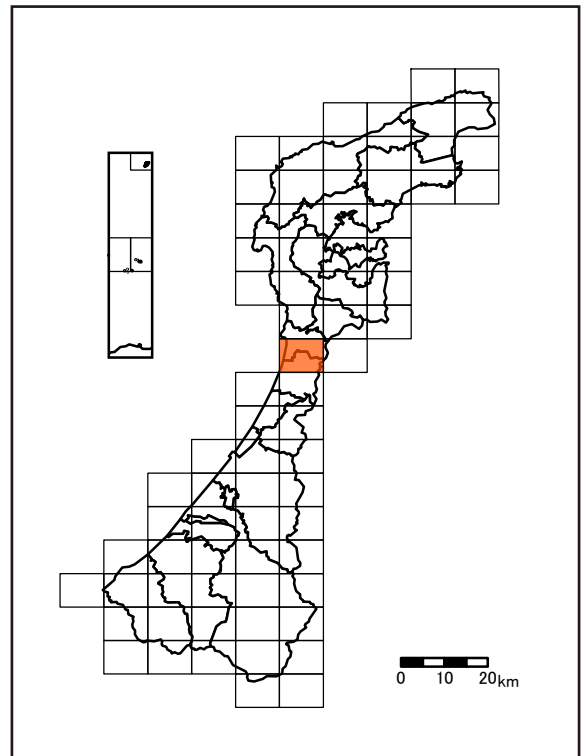
産地局限。

特記事項

イトハナビテンツキと同所で確認されているが、両者はすみ分けもあり明瞭に区別されるという。生育地は近年立ち入りが制限され、両変種とも現況の確認はできていない。



久保広子・1990年9月23日・宝達志水町



県内の分布